

BALL TEST DATA

【セールス資料】

BALL NAME: VIRTUAL TOUR EXCLUSIVE



平成 28 年 9 月 26 日

COLOR: BRONZE pearl / ROYAL & TEAL solids

COVER STOCK: R3S HYBRID REACTIVE

THE BOWLER'S COMPANY™

レイアウト例

RG:2.48(MED/15P) ΔRG:0.052 (LOW/15P)

VIRTUAL TOUR EXCLUSIVE

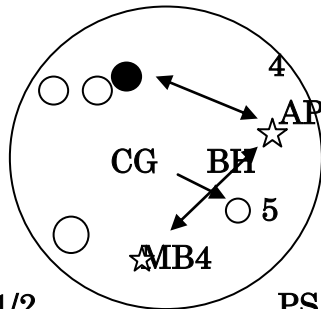
VIRTUAL TOUR S

FACTORY FINISH: 1500-Grit POLISHED

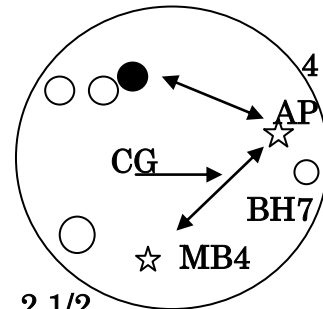
TRACK FLARE POTENTIAL : 6”(MED-HIGH)

BACK END:19 (1-20) MAX LENGTH: 16 (1-20)

O	LONG			
I	MEDIUM			
L	SHORT			
		Light	Medium	Heavy



PSA 2 1/2



PSA 2 1/2

適正レーンコンディショングラフ

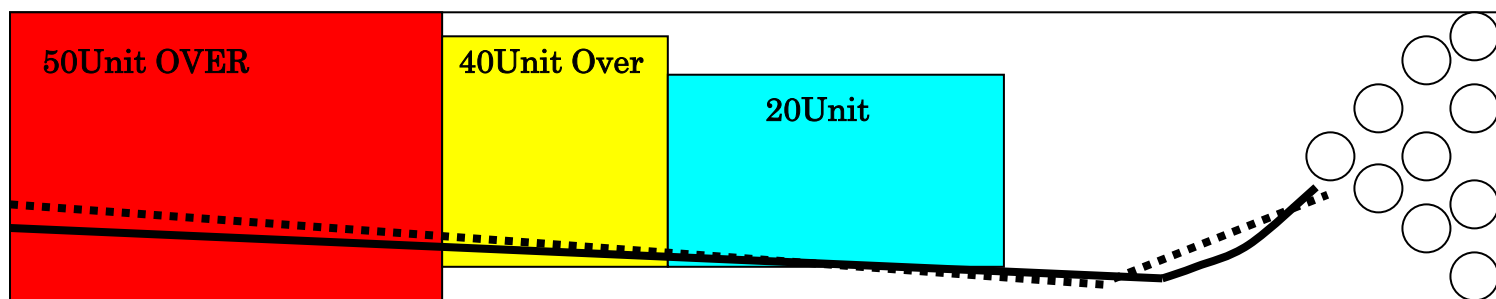
CA52度

CA52度

【MEDIUM OIL 編】

フラー幅 最大 6 1/8・間隔 1/8

最大 6 1/4・間隔 1/8



0F

15F

27F

38F

45F

比較品ライン VIRTUAL TOUR EXCLUSIVE

VIRTUAL TOUR S

【製品比較表】

曲がり度	1	2	3	4	5	曲がり方	アーク	1	2	3	4	5	シャープ
スキッド	1	2	3	4	5	オイルの強	1	2	3	4	5		
ピンアクション	1	2	3	4	5	テスト品	○						△

*上記の数字は、1側が少ない(短い・弱い) 5側が強い(大きい・長い)

【ボール総合評価】

過去数々の VIRTUAL シリーズが販売されましたが、近年は、バックエンドでキレる動きがコントロール性能を落とすと懸念されるようになりました。今回の R3S HYBRID は手前のオイルにも強く、早い段階からロールに入るのでキレると言うよりピンに寄って行く印象が強いです。

【ここがポイント】



最近多く使われている“適度な摩擦”という表現ですが、この適度というのはボール自体が滑る感覚では無く、転がりながら前進し、一定の場所でスムーズにフレアを起こす感覚です。強いコアであるシェプロック HD は、ブレイクポイントからの立上りにストロングアーク状の曲りを見せます。近年バックエンドのキレ重視でなくなってきたのは、バックエンドがドライなコンディションが多いため、手前の直進は必要だが角度があり過ぎる曲りはハイスコアを出すのが困難なセンターコンディションが多くなってきているからです。そして新しいヴァーチャルは、これを克服する製品に仕上がっています。このボールは多くのコンディションを克服するでしょう。強烈なピン飛びは相変わらず。反則ですね！



SHAPE-LOOK HD CORE

発売予定：平成 29 年 3 月中旬 テスト協力センター：本八幡ハタボウル

販売価格 ¥52,000 円 (税別)

テスター 石原 章夫プロ【HIGH SPORTS 専属契約プロ】